



### 新型コロナウイルスワクチン接種 商店街の活性化・ごみ問題について

向井 誠議員



#### 新型コロナウイルスワクチン接種について

**質問** 視覚障がい者の方への接種券等の対応は。

**答** 県視覚障害者福祉協会の要望を受け、点字により、コロナワクチン関係書類と表記して送付しました。

**質問** 64歳以下の予約、接種計画は。

**答** 7月1日号の広報で詳細をお知らせする予定で、接種が済んでいない65歳以上の方についても、希望により、予約が可能であることを伝えていきます。  
**質問** 残る店舗の数は。  
**答** 沿道事業者54件の動



### 都市計画マスタープランと 中心市街地活性化について

小林 信議員



#### 実現のための具体策

**質問** 都市計画マスタープランが改定され、新しいまちづくりの方向性が示されたが、平成25年から令和3年までの中心市街地活性化基本計画の総括では、まちのにぎわい創出及び居住の促進は達成されず、人口も減少している。と述べてい

るが、年次の中間で、目標を達成できるのかについて全くふれていない。今回の計画でも実現への具体策が示されていません。  
**一つの部署だけでなく**  
**答** まちなかににぎわいを持たせようと、目標として、平成24年のエリア内人口9398人を1万200

向は継続26件、駐車場3件、住宅6件、未定19件です。  
**質問** 廃業により、店舗がなくなった跡地利用は。

**答** 昼間の人口増のため商業施設のほか、業務系の施設など複合的な機能を誘導すべきと考えています。

**質問** 低未利用地が多く含まれる中で、どのようににぎわいをつくっていくのか。

**答** これまで空き家、空き店舗を活用するリノベーションスクール、百年小麦ブランド委員会によるうど

0人と掲げました。結果的には8779人と、増加はおろか減少に至りました。

まちづくりは、一つの部署だけではできないものではなく、多くの関係部署が関わり住民の生活環境を守っていくものと考えています。

#### まちなか再生プロジェクト

**質問** 先ほど、まちづくりについては、一つの部署だけでできるものではないと答弁していますが、私は過去に一大プロジェクトをつくって、専門的に取り組むべ

んや菓子などの新商品開発、六斎市での農産物の販売等を行なってきましたが、この取組を商店沿線にも波及させ、歩行者空間の利活用により、ソフト面のにぎわいを創出していきたいと考えています。

#### ごみ削減に向けたリサイクル率の向上について

**質問** 宅配便を活用し、小型家電を回収する取組を導入する考えは。

**答** 廃小型家電の宅配回収につきましては、実施事

きと提案してきました。

こうした組織体制について、どのように考えているのか。まちなか再生プロジェクトチームをつくり、まちなかに特化した部署をつくることは緊急の課題であります。

#### 機構改革に準ずる

**答** 組織体制については、今年度、まちなかの都市再生として、都市計画・商業・住宅・公共交通・医療・福祉・教育などの複数の分野にまたがる施策を一体的に

業者との協定締結に向けて前向きに検討していきます。  
**質問** プラごみ収集の回数を増やす考えは。

**答** 収集費用が年間約3800万円かかること、また、中国のプラごみ輸入禁止措置により、処理量が飽和状態であるため、国内外の動向を踏まえながら総合的に検討していきます。



7月にオープンした  
ごみゼロ館

取り組み、相互連携を強化していくことが不可欠と考えています。

提案のプロジェクトは機構改革に準ずるものと考えます。庁内で議論して、まちなか再生に向けた部署を構築できるように検討したいと考えています。



まちなかの商業施設跡地